

令和 8 年度沖縄県平和創造の森公園指定管理者制度運用委員会におけるモニタリング
の検証結果について（令和 7 年度実績分）

1. 施設名：沖縄県平和創造の森公園

2. 開催日時：令和 8 年 7 月 29 日（水）14：00 ～ 16：00

3. 開催場所：沖縄県庁 4 階第 2 会議室

4. 出席者：委員 4 人中 4 人出席

（会長）張本 文昭 （沖縄県立芸術大学）

（委員）新田 慶子 （一般社団法人沖縄県中小企業診断士協会）

（委員）樋口 純一郎（株式会社トロピカル・グリーン設計）

（委員）津嘉山 敦子（学校法人みのり学園幼保連携認定こども園
みのり幼稚園）

（事務局）横田、眞鍋、友利、山田（沖縄県環境部環境再生課）

（指定管理者）砂川、井勝、仲大底（沖縄文化スポーツイノベーション株式会社）

5. 検証事項

沖縄県平和創造の森公園の令和 7 年度実績に係るモニタリングの実施結果

6. 検証内容

- (1) モニタリングは適正に行われているか。
- (2) 指定管理者に対する県の指導・助言は適切に行われているか。
- (3) 利用者アンケートや苦情に対する指定管理者や県の対応は適切に行われているか。

7. 検証方法

- (1) 事務局によるモニタリングの実施結果の報告
- (2) 委員からの質疑・意見

8. 検証結果

令和 7 年度モニタリング実施結果は妥当である。

なお、維持管理業務及びサービスの質について現状の水準を確保しつつ、更なる
向上に努めるよう、指定管理者に対して指導・助言を行うこと。

利用状況の改善に向け、自主事業や園内利用の周知方法について、指定管理者に対して指導・助言を行うこと。

9. その他質疑・意見

(1) リュウキュウマツの水不足について、同様の兆候が確認された場合は散水等で早急に対応すること。また、散水設備利用による人件費削減も検討してはどうか。

(2) 松くい虫防除について、年2回の薬剤散布ではなく樹幹注入による方法も検討してはどうか。

(3) 自主事業について、未実施が多いので年間スケジュール等を作成し、実施できるよう努力した方がよい。

(4) 水関係について、整備修繕を積極的に行った方がよい。

(5) 草刈機等の機器について、中東情勢対策や省エネの観点から、電動化を検討してみてもどうか。

(6) 自主事業について、公園の活性化を図るため、「推し活」等の流行事例を取り入れてみてはどうか。

(7) 団体利用者について、熱中症対策を重視しながら利用しているため、自主事業にてウォーキングイベントやマルシェを秋ごろに開催してみてもどうか。

(8) 平和学習について、重点取組事項として取り組んではどうか。公園の設置目的でもあるので、自主事業も工夫して行っていただきたい。

10. 会議の公開状況：公開